

議会運営委員会会議録（令和2年1月23日）

出席委員 中川委員長 開田副委員長 青山委員 岩城委員 古沢委員 浦田委員
原議長（オブザーバー）

欠席委員 なし

説明のため出席した職員 石坂総務部長 澤口総務課長 奥村財政課主幹

職務のため出席した事務局職員 妻木局長 永田局長補佐

午前9時00分開会

【中川委員長】 これより、議会運営委員会を開催いたします。

会議日程は、お手元に配付してあるとおりであります。

日程第1 会議録署名委員の指名をいたします。青山委員、開田委員にお願いいたします。

日程第2 令和2年第1回滑川市議会臨時会提出案件について、当局の説明を求めます。

【石坂総務部長】 それでは、第1回臨時会に提出する議案の概要について説明を申し上げます。

今回は、補正予算関係で、一般会計の1件のみでございます。

それでは、担当のほうから詳細について説明申し上げます。

【奥村財政課主幹】 おはようございます。

それでは、議案の中身につきましてご説明を申し上げます。

こちらの一覧表のほうをごらんください。

議案第1号 令和元年度の一般会計（第4号）の補正でございます。1月の補正予算案でございます。

今回につきましては、補正額2,000万円ございまして、補正後の額につきましては132億4,154万2,000円となるものでございます。

今回の補正に伴う一般財源につきましては、全額繰越金2,000万円を使用するものでございます。

内容について申し上げます。

7款商工費でございます。浜の活用推進事業費2,000万円でございます。内容につきましては、滑川蒲鉾跡地の取得費用でございます。

以上でございます。

【中川委員長】 ただいまの説明について何か質問はありますか。

【古沢委員】 私は産厚建のメンバーじゃないので、委員会でも質問があったかもしれませんが、ダブったらすみません。この案件は文字どおり12月定例会で削減された中身だと思うんですけども、1カ月後にわざわざ臨時会を開いて再提案される、このように急がれる理由だけちょっと確認したいと思います。

【石坂総務部長】 申しわけございません。ちょっと詳細については私はお聞きしておりません。

【古沢委員】 臨時会を開くほどの……。臨時会ってイレギュラーな議会だよね。それをやられる理由がわからないというのは、開く理由にならないんじゃないの？

【石坂総務部長】 3月定例会でももちろん当初予算を審議していただくわけなんですけど、その中で、やはりこちらは重要な案件なものですから、その審議等に時間を要して、ほかの案件の十分な審議ができないということも懸念したものかというふうには推察いたしますが。

【古沢委員】 ちょっと臨時会を開く理由にはならないと思う。これだけにしておきます。明確な理由がないということだけわかりました。

【石坂総務部長】 いま一度確認させていただきまして、改めて回答をさせていただきたいと思います。

【浦田委員】 私からも。今の古沢委員の質問と全く同様の質問なんです。私もそのように質問しようかというふうに今思っていたところなので、12月の定例会が終わって否決されて、まだ1カ月、ほとぼりも冷めないあるいは舌の根も乾かないうちに臨時会という形で出るということ自体が理解できないというのが正直な気持ちなので、何でそこまで急がれるかという本当の理由づけをしっかりとやっていただかないと、臨時会をやるという大義名分が、要するに旗がないなという思いなので、その点、私からも強く申し上げておきたいと思います。

【中川委員長】 ほかに質疑ありませんか。

【青山委員】 提案されたのは提案された中で今いろいろな話は聞いておりますけれども、それは個人的な議員として聞いているという部分で、正直なところ、きょうのこの説明が総務部長でよかったのかなというのがありまして、そのへん、今の詳細も答えられないようでは、やっぱり当局側の準備がしっかりされていないところだと思いますので、

そのへんについて、やっぱり提案した課からというか、そういったところを今後配慮していただかないと困るということで、ちょっと一言もらえればいいんですけども。

【石坂総務部長】 申しわけございません。こちらの準備不足でございました。今後このようなことがないように、しっかり対応したいと思います。

【開田副委員長】 財政課の皆さんですよ。そしたら、例えば繰越金を使ってこういう臨時会してよって言われたら、財政課としては、自分のところのエリアを守るということに関して、エリアって言ったら変なんでしょうけども、ただお金を使わせて、はい、わかったって、これではちょっとあかんような気がするがだけど、いつもそういう感じなんですか。当局あるいは現場からこうやって来たらお金出すちゃという感じなんですか。

【石坂総務部長】 決してそういうことではございませんで、財政課として提案をしておるわけではなく、市として、当局として出しておるわけでございます。当然、市長以下、その判断のもとで提案すべきということで、出させておいておるわけでございます。

【開田副委員長】 滑川市の財布を持っておられるわけですよ。それが、教育委員会でもなけんにゃ福祉課でもない、一応滑川市の大きな財布の中から、これだけ使うね、はい、じゃなくて、なぜ使うが、今必要なかどうか、これはやっぱり吟味しておられると思います。そういうところでもやっぱり、青山議員じゃないけども、準備不足という気もしますし、よろしくお願ひします。滑川市中のお金が皆さんの手元にあるとすれば、もっと慎重に動いてもらいたいなと思います。

【石坂総務部長】 もちろん、私ども財政課だけの判断でお金をやりくりできるものではございませんし、市内部で十分審議したうえで提案しておるわけでございます。今後もそのようなことでしっかりやっていきたいというふうに思います。

【中川委員長】 ほかに質疑はありませんか。

(質疑する者なし)

【中川委員長】 ないようでありますので、当局の皆さんはご苦労さんでございました。退席をお願いいたします。

(当局退室)

【浦田委員】 当局さん、出ていかれたけど、今の質問の答え、当局さんは持っておいでるんでしょうね。

【永田局長補佐】 今、部長に確認したところ、確認はすると言われました。

【中川委員長】 それまで待つて、それでは進めさせていただいていいですか。

じゃ、先へ進めさせていただきます。

次に日程第3 臨時会の会議日程についてを議題といたしますので、事務局のほうから説明をお願いいたします。

【妻木局長】 日程案につきましては、配付しておりますとおり、1月30日木曜日の1日といたします。

当日は9時から議会運営委員会、9時半から全員協議会を開催し、本会議は10時開会とします。

次に、議事の流れについて申し上げます。

日程第1 会議録署名議員の指名を行います。日程第2 会期の決定を議題とします。

日程第3 議案第1号 令和元年度滑川市一般会計補正予算（第4号）について市長から提案理由の説明を受けた後に暫時休憩をし、直ちに全体委員会を開き補足説明を受けます。その後、本会議を開会し、日程第4 産業厚生建設委員会へ議案の委員会付託を行い、暫時休憩といたします。

（当局入室）

【妻木局長】 委員会は第1委員会室で開催します。委員会終了後、本会議を開きます。

日程第5 産業厚生建設委員長から委員長報告があります。委員長の報告に対して質疑を行い、質疑がなければ質疑を終結し、討論、議場での通告がなければ終結し採決を行います。最後に市長からの閉会の挨拶があり、令和2年第1回滑川市議会臨時会を閉会いたします。

以上でございます。

【中川委員長】 ただいまの説明は後ほどまた話を進めたいと思いますので、石川副市長が来られましたので、先ほどの委員の質問の中で、なぜ1カ月もたたないのに臨時会を開くのかという疑問の質問がありましたので、そのへんを回答いただきたいと思います。

【石川副市長】 おはようございます。ご苦労さまです。

まず第1点目は、12月議会の後、所有者のところへ経緯等も含めて報告に参りました。そのときに所有者は、これで3回も議会の理解も得られないのなら、できるだけ早く結論が欲しいと。その中で言われたのは、私も高齢なので、この土地についてはできるだけ早く、例えば市で取得が難しいのなら、ほかの方法も考えたいと。ほかの売れるところ等も探したいと。今までは市のほうへ、いろいろ話もあったもので、市に協力ということで、ずっとそういうふうにしていただけていたけれども、当初の3年前のことから言われまして、相当

長期にわたっておるもので、もしもどうしてもだめなら、できるだけ早く結論を出してください。

それで、私は年末に行ったんですけども、年末と正月、9連休等ありまして、そういう中で、早くといっても、もうちょっと議会ともいろんな相談等も含めて当然出てくるだろうし、12月議会のときには、もう一回提出をしてくださいと、そういう修正を出されたので、そこで半ばぐらいをめでに何か考えてみますと、相手の方にはそういうふうに言ったわけでありませう。

そういう中で、12月議会のときには、修繕費あるいは維持管理費等がどうなるかと、そういう話でありましたので、それは早急にいろいろ調査をしながら議会にお示しをすれば、時間的にはそんなにかからないんじゃないかと、そういうことでやったわけでありませう。

それからもう1点は、3月議会ということも当然あったわけでありませうけども、それは、やはり1つは、過去3回も議会といろいろ議論が違ってきたところで、今度は新年度の新しい予算の審議がメインになるところに、それで滑蒲の問題がまたあると、やっぱり、それは議論はいろんな議論の場合であるんですけども、それは少し切り離れたほうがいいのではないかと、そういうふうに思いました。

それからもう1つは、例えば3月の当初予算で入れたときに、今度は可決された場合のときは、それは今度は相手と売買契約、その後登記をします。登記した後に支払いをするということになりますので、そこらあたり、支払う場合は4月、少し新年度へ入ってもいいんですけども、そこらあたりの日程が非常に窮屈であると。そういうような等々を含めまして、できるだけ早く結論を出したい、そういうことでずっと議会にお願いをしておったと、そういう状況であります。

【中川委員長】 今ほどの副市長の説明で、皆さん、何か質疑がありましたら。

【浦田委員】 今ほどの説明で、要は所有者、地権者さんの要望であるという1点に尽きるとしか理解できないのかなというふうに思います。

地権者さんの都合だけで議会が振り回されるのもいかなものかなと。私も、議会としてはやっぱり、中身、内容の話を議論したいなということですので、臨時会で上程されるという理由づけには、いまいち説得力がないなという思いがいたしております。

ほかに何か理由があれば、またおっしゃっていただければなと思いますけど。

【中川委員長】 ほかにないですか。

12月議会は、要は、今後の維持管理費と修繕費を提案してくれということで、否決とい

うか先送りになったわけですが、私、それを提案する中で、やはりそういった中で、今回もきっちりと修繕費あるいはまた維持管理費等が提案されておりましたので、私はこれで順当に進めていただいても結構ではないかなと思います。数字的にはもうちょっとかかるような気がするわけですが、現実にきっちりと当局のほうは調べられて維持管理、修繕費を出されたということで、私らの要望どおりに出されたのではないかなと思って、私は今回の提案は妥当だというふうに思っています。

【古沢委員】 この場はこの案件がどうかということ審議する場ではないので、臨時会を開かれるということだったので、その臨時会を開かれる理由を答えていただきたかったです。そのお答えは、今、浦田委員からあったように、一番大きいのは地権者からのそうした申し出であったというふうに理解をいたしました。

それがいいかどうかということはこの場では申し上げませんが、理由だけは確認をしたかったので質問した次第です。

以上です。

【中川委員長】 ほか、よろしいですか。

(質疑する者なし)

【中川委員長】 ほかに質疑がなければ、じゃ、当局の皆さん、どうもありがとうございました。

【石川副市長】 どうもありがとうございました。またよろしくお願いします。

(当局退室)

【中川委員長】 じゃ、先ほど妻木局長から説明がありましたが、委員のほうから何かありますか。

ちょっとちぐはぐして申しわけない。

(質疑する者なし)

【中川委員長】 説明はよろしいですか。

(特になし)

【中川委員長】 じゃ、次に日程第4、その他に入ります。

まず、委員のほうから何かありませんか。

(質疑する者なし)

【中川委員長】 ないようでありましたら、議長のほうから。

【原議長】 手元に1枚、要望事項ということで資料が回っておるかと思えます。これに

つきましては、新聞等でも15日に出ておったわけですが、1月14日火曜日、特別室におきまして、滑川商工会議所から要望書が提出されました。その1つ目に、議員定数と報酬の適正化についてという、一番最初に出ておりました、これにつきまして当局は2月18日に会議所のほうに回答すると。市のほうへ来たものですが、それに伴いまして、議会として回答ということalmazどういふふうを考えればいいかなとお諮りしたいわけでは。当然、用紙だけで商工会のほうへ持っていく形になろうかと思いますが、ちょっとこれについて皆さんの調整をお願いしたいと思ひます。

前に、二十三、四年度にも同様の要望が出されておりました、そのときはそのほかの要望書と同様な扱ひということで、議員さんへの配付のみと。回答というのとはしておらないということであります。その後、平成25年に商工会議所との意見交換会を開きまして、最終的には1人減、定員を15人とした回答書を提出しているということであります。

私のほうは、もし皆さんのご意見で、検討したいというふうなことで回答が通るのであれば、そのような回答でもいいかなというふうに思っております。

委員の皆さん方の意見をまとめていただければと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

【古沢委員】 これについては意見がまちまちだと思ひるので、それと、この文脈を見たら、減らせと言っているでしょう、これ。2名減で支障がないと言っているんですね。反面、2名減で支障がないというのは、議会が頑張っているという言い方もできるんですよ。議員が。2名減でそのまま減らせばいいんじゃないかという話にはならないと思ひます。

だから、個人的な見解ですが、議員定数と報酬の問題は全く別の問題です。議員定数をどうするかというのはこれまで議論になっていないんだから、この商工会議所から要望があったというのは、要望があったということ各議員の皆さんに知らせていただくと、それでいいと思ひます。

【開田副委員長】 私の記憶では、前に出された商工会議所からの要望は、定数削減だけ出てきたような気がします。報酬見直しはなかった。今回は、さらに定数を下げたいから、あんたたち、報酬もあわせてそこを見直されみたいな意見のような気がします。ですから、議会のほうでしっかりと話し合ひする必要があるような気がしますね、委員長。過去の経験からね。定数削減、定数削減ばかり。今初めて報酬の適正化と出てきたと思ひます。

【原議長】 今ほど言った報酬の適正化については、議員として、今の報酬で生活というか、言い方はおかしいですけども、できるかと。そういうふうな観点から見直せというこ

とを会頭のほうから説明のときに言われましたので、減らせとかというのではなくて。まあそれは適正化ですから、そういう意味も含めてです。

【開田副委員長】 今、それこそ報酬という言葉が出たのは初めてだったので、これ、報酬の見直しというのは、少しアップしないと若い人は来ないでしょう？ ということだと解釈しましょうよ。

【原議長】 そのとおりです。

【古沢委員】 だから、定数の問題にしても報酬の問題にしても、これまで議論もされていないし、考え方はいろいろなんですよ。だから、別にこの場はこうするという結論を出す場でも何でもないので、私は商工会議所から議論してほしいという要望があったということを伝えていただければそれでいいというふうに思っています。

それからもう1つ、個人的な感想を言わせていただくと、この要望書、何ていうかな、「4年に一度の市民が市政に参加する機会が失われることのないように」って書いてあるんですね。機会を失っているのは議会が失わせているわけじゃないですよ。何か人事みたいに書いてあるけど、商工会議所のメンバーだって市民なんだから当事者なんですよ。人事みたいな表現はいかがなものかと私は個人的には思いますよ。出られりゃいいがに。

【青山委員】 これ、どんなもんですかね。今のところ、これの話で具体化するために話をしていくのか、それともただこういう話が今あったよで終わらすのか、どちらの方向なんですか。議長も含めてというか、この場で決めるのか、どういったスケジュールでやるのか、それともただただ要望だけ受けて、はい、終わりとなるのか。

というのも、これ、私の個人的な意見で、いろいろ経済界の方、もちろん皆さんそうだと思うんですけど、仲のいい方がいらっしゃるじゃないですか。定数の話はいつもされます。でも、実際問題、前も話をしたかもわからないんですけど、議会の仕組みそのものをわかっていない方々が定数削減を結構言われているわけで、いわゆる今2つの委員会制でさせていただいていて、片方が6人とかそういった話になってくると、一体じゃ、どこまで減らせばいいのかってなってくると、もう2委員会で行っていること自体が危ぶまれるだろうという話とかをすると、意外と言われた方々が、そういうことになつとるんかというので結構話が変わってくるんですね。そういった議論をしていくのもまた1つだと思いますし、そういう場を議会と商工会議所に、こうやって来たんだったら商工会議所の提案者の人たちと話をするのもこれは手だと思いますし、全くそのまま今のこういうのがあるがだという古沢委員の話で、それだけを認知するというのも手だとは思いますが、

やっぱりどちらかの方向を示してあげないと、せっかくこうやって文面化されてきているので。

【中川委員長】 今青山委員の言われるのはそのとおりだと思うんですが、ともあれ、議員定数の問題は議員内で決定するという事なので、平成25年に1名減らしたときも、やはりあのときはちょっと目立つ行動があったもので、かっちりと示されてしまったので、だから、議会として1名を減らすということで25年はやった。今回も、選挙はまだ2年後でありますから、来年の11月です。2年近くある中で、その中で議会で減らすか減らさないかを議論されれば十分だと。

私自身としては、これ以上減らしてはだめじゃないかなと思いますので、それと報酬問題は、当然、私らでちゃ、なかなか決められないので、私の考えとすれば、ともあれ元へ戻してほしいと。平成14年に社会が非常に不景気の中で、市職員、そしてまた議員、特別職も減らそうということで7%減らされたままでありますので、ともあれ景気も全然変わってきたという中で、もうそろそろ元へ戻していただくか、あるいはそれ以上に、現在の状況に合わせた報酬にしてもらおう、これはやはり当局に要望して報酬委員会で検討してもらおう、このことではないかなと思いますので、これもいつの時点でそれをやるかというのが問題なので、今すぐというわけには、まだ2年近くありますから、できれば次回の改選時期に合わせた取り組みではないかなと私は思っています。

そういうように改選に合わせて検討していきたいということで、どうでしょうね。

【古沢委員】 だから、要望書にどうしても回答したいということであれば、この場で、今、委員長言ったように、定数の問題とか報酬の問題と違って決める場ではないんだから、必要があれば、しかるべき場を設けて議論を進めるようにすればいいだけの話で、それも議会全体としてどういう意向であるかというのも別に聞いてもいないんだから。

【浦田委員】 今の委員長の話は先ほどの話と一緒に、上げるとか下げるとか削減するとか、これは個人的な意見なので、ここで議論する話ではないので、私もずっと過去の経緯を踏まえると、今の委員長のような形で言いたくなってくるので、それを振り返るとすれば、今の回答とすれば、今現在では各議員に知らしめるだけの措置でいいのかなと、私はそのように思います。

その中で、議員のほうから、全体の盛り上がりがあれば特別委員会とか云々の話が出てくるのであって、ここでやりますとか云々の話じゃないなということであれば、商工会の要望は要望として議員に配付させていただきますということでおさめさせていただければ

いいかなと、私はそのように思います。

【岩城委員】 皆さん方、いろいろと結論ということで、2月の末に返答せんにゃならんと言われるがやね。

【原議長】 2月の18日って。

【岩城委員】 2月の18日。それまでこの結論ちゃ出せるわけないがはわかっとなるがで、実際問題としては、全議員で皆さん方にお知らせして、これからまた検討課題か何かという形にしていかにゃならん。やります、やりませんっていうてこの場で決められるわけがないので、やっぱり議会全体で考えていかにゃならんという、これは前々から何かそういうふう、火種みたいものはいろいろと聞いておりましたが、出てきたかなという感じであります。

どういふふうに転ぼうと、やっぱり一遍は議論していかにゃならんと思うがで、次の選挙までに結論を出すような形にして、皆さんと一緒にすけども、適正化というものを検討していくという形に答えを出されたほうがいいがでないがけ。白黒はつけられないと思いますね。2月の18日までは。

【中川委員長】 ともあれ、商工会議所に回答を出さんにゃあかんがでしょう。

【原議長】 なん、出すか出さないかというのは、それは皆さんの今の意見なので、例えばこのまま議員さんに配って周知してもらえばいいという今……。

【中川委員長】 まあそれも方法やちゃ。

【古沢委員】 だって、これまでいろんなところから出ている要望書に一々回答はしていないんですよ。慣例から言ったら。要望書は参考配付で議員に配付するだけや。何で商工会議所だけに返答せんにゃならんという話になる。

【原議長】 それで私も、当局が18日に回答するということだったものだから、一番最初に要望事項で出ているものに対してどうしたものかなということで、皆さんに今お諮りしているということでもありますので、回答せんでもいいということなら別にそれで今までどおりやりたいと思います。

【岩城委員】 回答といってもいろいろだけど、別に回答には、あなた出られるがやったけ。

【原議長】 なんなんなん、出ない。

【岩城委員】 出られるがなら、口頭でもいかったかなというような気もするんですけど。

【浦田委員】 じゃ、参考配付させてもらえばいい。どうしても回答しなきゃいけないのであれば、参考配付させていただきますでいいんじゃないですか。

【中川委員長】 今ほど浦田委員が言われましたように、全議員に要望内容を参考配付させていただきましたということで伝えていただければというふうに思います。

【原議長】 わかりました。ありがとうございます。

【岩城委員】 もう1つ。いいがけども、事務局さん、きゃ、今これ、私らに配ったのは、いつも綴じて一式的にもらったんやけども、改めて全体的にみんな要望になっとるやつをいただけるがやろ？

【妻木局長】 はい。きょうはこの回答について諮ってもらうために、議会のかんだところだけで、また全員分、コピーしたものを配付いたします。

【浦田委員】 まだ続きあるが。

【岩城委員】 まだいっぱいある。10項目ほどあるがいろ。

【中川委員長】 じゃ、今ほどの件についてはそのようにさせていただくことにいたしまして、事務局から何かありますか。

【妻木局長】 ございません。

【中川委員長】 では、前回、日台議員連盟の会費問題と本議会における質問の分割質問についてという2件の議題があったわけですが、皆さん、会派・グループで何か相談されましたか。

【開田副委員長】 いいえ。すみません。

【中川委員長】 まだでしたら、また次回にさせていただきたいと思います。

じゃ、そういうことで、次回、ぜひともまた皆さんで検討を進めていただきたいと思います。

ほかにないですね。

(質疑する者なし)

【中川委員長】 ないようですので、次回の議会運営委員会協議会は1月30日木曜日、午前9時から開催します。

以上をもちまして、議会運営委員会を開会いたします。

午前9時36分閉会